

地震・火災保険の 確認をお願いします！

被災地に心を寄せ、年の初めの祝詞を省略させていただきます。

元日に発生した石川県能登半島地震の被害状況に鑑み、ご邸宅の火災保険や共済の**加入(付保)状況をご確認**お願いします。**隣家の貰い火でご邸宅が火災になった場合**、法律の定めるところにより**火元の家には賠償責任が発生しません**。火災保険の未加入や期限切れがあると大変！！**自費での建て直しや修理**を余儀なくされます。地震保険の付保もお忘れなく。(根拠法:失火責任法、但し、放火や失火等の重過失火災を除く)

出典:全労災「こくみん共済」資料より



たとえば、隣家からの
もらい火で、自分の家が
被害を受けてしまったら...



この場合、『**失火責任法**』の規定
により隣家の人に損害賠償を
請求することができません。



だから、自分自身で
「火災の保障」を準備しておく
必要があるのです。

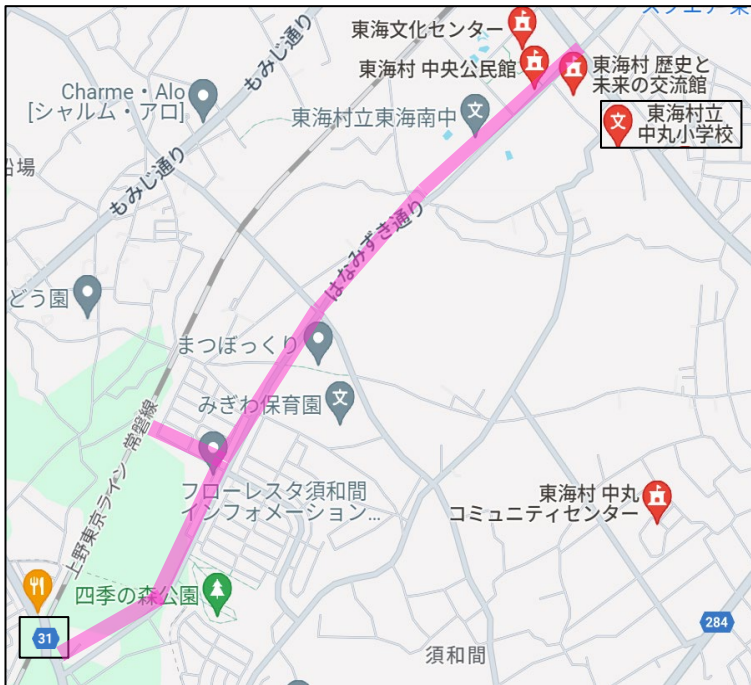
※「失火ノ責任ニ関スル法律」の略称。火元が重大な過失により発生させた火災ではない限り、損害賠償責任を負わなくていいと定めている。



議員 1 年生のみかみ修は、本村の安全・安心なまちづくりを実現するために、防災・防火関係の資格取得と維持を通じて行政提案を重ねています。

保険証書を再確認をお願いします

暗～い！ 中丸小-F 須和間通学路
はなみずき通りの改善に向けて



対策を要する幹線村道 はなみずき通り

みかみ修は議会閉会の度に発行している「みなみ風」を持って村内をうろうろ。村民の貴重なご意見を頂戴しながら、通学路や生活道路の整備状況や安全確認をしています。

住民の皆様からも多くご指摘をいただいているフロースタ須和間団地を抜ける1級村道0103号線は、交通量の多い幹線村道。

多くの子どもたちが通学路としては少々暗いので、引き続き改善を求めて参ります。この団地は今後も人口の増加が見込まれ、県道 31 号線の接続点までの改善を要しますのでひたちなか市との連携を取りながら、安全・安心なまちづくりを進めます。

今年もやります、空き家対策



昨年末、住民から空き家のガレージ内に積まれた枯れ木が長らく放置され、火災が心配なので対策して欲しい（右写真）とのご要望がありました。現場を再確認し、危険な枯れ木を撤去しました。（右写真）

これに先立ち、昨年 12 月議会で対策が進まない空き家問題に関して、行政が対策を進めやすい特定空家*認定の加速と条例改正を提案し、条例は本年度改正すると東海村執行部の答弁がありました。

行政は、法律にもとづいて公正・公平に仕事を進めなければなりませんので、緊急を要する仕事は本来得意ではありませんが、議員として行政と手を携え協力しながら、今年も空き家対策を進めて参ります。

*** 特定空家等とは：**そのまま放置すれば倒壊など著しく保安上危険となる恐れのある状態や、著しく衛生上有害となるおそれのある状態。適切な管理が行われていないことにより、著しく景観を損なっている状態、その他周辺の生活環境の保全を図るために、放置することが不適切である状態にあると認められる空き家等を指します。

